

クロスアップ 日★光★人



塩澤 好和さん 御幸町 在住

昨年11月、日光市で初めて、剣道の最高位である8段に昇段した塩澤好和さんを紹介します。

塩澤さんは高校教師ですが、現在は県教育委員会事務局スポーツ振興課に勤務。選手や指導者の育成など、県内スポーツの競技力向上に関わる仕事をしています。

8段の昇段審査は全国から98名が受審し、合格者はわずか7名、合格率はなんと0.7パーセントでした。剣道8段の審査は、日本に存在するあらゆる資格審査の中で最も難しいといわれています。塩澤さんは、6度目の受審で合格。今回の昇段審査について、「今まで、合格しなくてはとの思いで、

塩澤さんの剣道との出会いは小学校3年生のとき。当時の日光地域は剣道ブームで、塩澤さんは友人たちと東照宮道場に入門したそうです。それから現在まで43年間、剣道と共に歩んできました。現在も平日の終業後には剣道の同好会で稽古し、休日には市内の学校で稽古や指導に当たっています。

剣道の魅力を、「自分で自由にならない相手をどう打つかがおもしろいですね。また勝敗が、体力や年齢だけに左右されないと、これも魅力です。技と心を磨くことで



稽古の様子

体力の衰えをカバーすることができからです」と話します。剣道には事理一致という言葉があり、剣道の修業は、技(事)と心(理)とを一元的に修練することが必要であるという意味だそうです。

今後の目標を伺うと、「剣道の道を突き詰めつつ、後進の指導に力を注いでいきたい」と答えてくれました。また県剣道連盟の強化部長でもある塩澤さんは、県内の剣道競技人口の増加や競技力の向上にも力を入れていくそうです。

教師、剣士、そして指導者として、塩澤さんの今後ますますの活躍を期待しています。

紹介したい人、サークルを募集しています！

クロスアップ日・光・人では、活躍している人、サークルを紹介しています。このコーナーで紹介したい人やサークルの情報がありませんでしたら、ぜひお寄せください。なお、自薦、他薦は問いません。

※掲載にふさわしくない活動内容が含まれている場合、紹介をお断りすることがあります。

連絡先及びくわしくは
秘書広報課 広報広聴係
☎(21)5135

みんなの投稿でつくる 地域NEWSリレー

防災対策用物資の寄贈

2/8

寺島薬局株式会社から、防災対策用物資として、マスク9万枚が市に寄贈されました。

これは、児童のインフルエンザ予防や、防災対策用物資として活用できる女性・児童用の不織布マスクです。

市内小学校への配布や、市で行う健康診断で活用する他、いざというときの防災対策に活用します。



文・写真：総務課

EV用急速充電器を設置しました

2/14

市は、環境にやさしいEV(電気自動車)の普及を図るため、市縁ひろば、御幸町第2駐車場、湯の郷湯西川観光センター(道の駅湯西川)の3カ所に、EV用急速充電器を設置しました。当面は誰でも無料で利用できます。これにより、市内の充電器は民間施設と合わせて7カ所となり、今後、市はEVの普及を進めていきます。



文・写真：環境課

日光鉢石宿のおひなさまコンサート

2/18・日光

「日光鉢石宿のおひなさま」のイベントとして、日光少年少女合唱団が歌声を披露しました。会場となった日光郷土センターには、さまざまなおひなさまが飾られ、小学生から高校生までの団員27名は、レパートリーに童謡「うれしいひなまつり」も加え、会場を訪れた人たちと一体となり、元気に歌うことができました。



文・写真：日光公民館

スポーツ少年団剣道交歓会

2/18・今市

千葉県館山市と日光市の剣道のスポーツ少年団が、大沢体育館で交歓会を開催しました。交歓会は、両市で毎年交互に開催しており、今年は館山市から小中学生36名、指導者12名の剣士を日光市に迎えました。寒い中、団員同士の試合や、団員と指導者、指導者同士の稽古を行い、竹刀を交えた交流で親睦を深めました。



文・写真：市スポーツ少年団剣道専門部

日光学まつり・生涯学習フェスタ

2/25・藤原

日光学まつり・生涯学習フェスタのイベントとして、日光の「食」の素晴らしさを広く市民に伝える食の文化祭を実施しました。これは、日光学・きらびと養成講座受講生が実行委員会を組織し開催したもので、会場を訪れた人からは、「いろいろな料理を知ることができ楽しかったです」などの感想をいただきました。



文・写真：生涯学習課

地域のニュースを募集しています!!

このコーナーでは、皆さんから記事と写真の投稿を募集しています。

募集する記事

自治会の催しや、地域のちよつと珍しい出来事、心温まるエピソードなど

※内容によっては掲載できない場合があります。

応募方法

記事に写真を添え、住所・氏名・電話番号を明記の上、持参または郵送、メールでご応募ください。

○記事：140字程度(題名、日付、場所を別に記載してください)

○写真：紙焼きしたもの・デジタルデータどちらでもOKです。ただし、携帯電話のカメラで撮ったものなど、大きくした際に画像が荒れてしまうものとは不可とします。

あて先 〒321-1292 今市本町1番地

日光市役所 企画部

秘書広報課 広報広聴係

メール hishokouhou@city.nikko.lg.jp